

令和2年8月19日

保護者の皆様

ヤンゴン日本人学校

校長 刑部 之康

## 新型コロナウイルス感染症対策について その22

### 【2学期の開始に向けて】

ミャンマーでは市中感染がゼロの日が続いていましたが、1ヶ月ぶりに一人の感染者が発覚し、市民の不安が募っております。また、公立の高等学校の一部が再開、しかし小中学校の再開は予定しているもののまだ先が見えません。

日本では連日1,000人を超える感染者の発表があり、感染拡大を恐れてお盆の時期でも外出を控えていた人が多いようです。

商用国際便の離発着と査証の発給が停止されている状況の中ですが、ミャンマー日本国大使館と在京ミャンマー大使館のご努力により、日本からミャンマーの人たちを帰国させる救援便が往来し、この便にはまだ数少ないのですが日本人の帰任希望者も搭乗が可能となってきました。

その中で日本人学校の代表として、8月6日の救援便の第3便目で、校長が無事に帰任することができましたことをご報告いたします。

入国後は政府指定ホテルにて隔離1週間の予定でしたが、8月13日、同便に搭乗したミャンマーの方から2名の感染者が出たため、同便に搭乗していた者に2週間の隔離延長が打ち出され、現在まだなおヤンゴン市内のホテルに隔離中です。

このような措置からミャンマー政府やミャンマーの国民の新型コロナ感染症対策への慎重さ、厳格さをあらためて認識いたしました。

帰任後、すぐに再開の準備を具体的に進めようと計画しておりましたが、残念ながらこのような状況になってしまいましたことをご連絡いたします。

とはいえ、子どもたちの学びを進めるために、8月24日のオンラインでの2学期始業式、さらにはヤンゴン在住の子どもたちが一日でも早く通園・通学できるよう、隔離中であっても学校、日本待機中の教職員と連携をとり、準備を進めてまいります。

なお、2学期は、1学期と同様にオンライン（遠隔授業）にての開始となります。

## 2学期開始に向けて

### 学校の再開（一部の園児・児童・生徒が登校できる教育活動）について

ミャンマー政府（教育省）は「学校再開時のコロナ感染予防対策状況調査」をミャンマー国内の公立学校の再開に向けて通知しております。

現在、7月中旬よりミャンマー国内の公立高校がこの調査を終えて学校を再開しているようですが、その数は半数を超えたほどの情報があります。

それだけ、この条件のハードルが高く、保護者、教員等の意識や学校の準備体制、校内での感染の可能性などを踏まえると子ども達の感染予防ために開校を急ぐことはない、との慎重さの表れの様です。

ミャンマーのこの開校条件は、日本国内の文部科学省のガイドラインと比べ、より具体的でハードルが高くなっておりますが、本校もこの条件に基づき、子どもたちの感染予防、及び万一感染者が発生した際の対応など、万全な対策と準備を進めております。

この対策と準備が整い、ミャンマー政府の許可をいただくこと、国内待機の教員が一部の帰任により子ども達への指導対応ができることをもって、ヤンゴン在住の在籍者が登校できる環境が整ったと校長として判断いたします。その判断により学年ごとの分散登校の実施なども前提に、可能なことから一部学校再開をする予定です。

早く学校に行きたいとのヤンゴン在住の子ども達からの声も届いております。しかし、まだ子ども達の安全確保のための準備に時間がかかるため、一部の分散登校にせよ、学校再開まで今しばらくお待ちいただくこととなります。ご理解よろしく願っております。

登校可能となった際には改めてお知らせいたします。

### 2学期の授業について

当初の予定通り、8月24日（月）に2学期の始業식을以下の通りオンラインにて実施いたします。

日時 令和2年8月24日（月） ヤンゴン時刻 7:40～8:00  
日本時刻 10:10～10:30

時程  7:30～オンライン招待（確認のため前日に時刻周知します）

7:40～8:00 始業式

2校時より4校時まで授業（学活含めて、4校時で終了です）

2学期は、在籍する園児・児童・生徒と授業を担当する教員の多くが日本国内待機中であり、学校での正常な教育活動の実施ができないため、しばらくはオンラインでの授業を継続いたします。

また、下記の通りオンラインによる一部学校再開以降、教員がすべて帰任・着任できた際に、通常の学校での授業の実施となります。その際には国内で待機を続けざるを得ない園児・児童・生徒のために授業をオンラインで配信、録画をとり、視聴もできるようにいたします。

## 2 学期開始時の授業時数について

2 学期は当面、オンラインでの授業の継続となります。

子ども達がパソコンを前に集中して学習に取り組める時間や実技教科などオンラインでは困難な授業内容があることなどを鑑み、

小学部 1, 2 学年	1 週 2 0 時間 (1 学期と同様)
小学部 3 学年から 6 学年	1 週 2 3 時間 (週に 3 日 5 時間授業、2 日 4 時間授業)
中学部	1 週 2 5 時間 (毎日 5 時間)

としました。

特別活動や総合的な学習の時間、また音楽、美術（図工）、保健体育、技術・家庭科などの実技教科の時数を軽減し、その他の教科はできるだけ標準時数とするか、標準時数に近づけられるようにしました。

文部科学省からの通知（令和 2 年 8 月 1 3 日）では

**「新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業により、学校教育法施行規則に定める標準授業時数を踏まえて編成した教育課程の授業時数を下回ったとしても、そのことのみをもって学校教育法施行規則に反するものとはされないこと。また、児童生徒の各学年の課程の修了又は卒業の認定に当たっては、弾力的に対処し、その進級、進学等に不利益が生じないよう配慮すること。」**

とあります。本校での 1 学期のオンライン授業の指導内容は、軽減、または実施しなかった教科・領域以外のすべての教科において年間指導計画通りに指導済であることを併せてご報告いたします。ご安心ください。

## 小学部の 2 学期に使用する副教材について

2 学期より使用予定の小学部の副教材についてのお知らせです。

日本国内に在住している在学児童には、先日調査いたしましたご住所宛に、郵送にて発送いたします。

ヤンゴン在住児童には、ヤンゴン日本人学校にて保護者に配付予定です。日本からの持ち込みとなるためお渡しするまでにしばらくお時間がかかりますことをご了承ください。

準備が整いましたらご連絡いたします。